

Shinotsu Kahanrin Guide Book



公益財団法人 草野河畔林トラスト財団
〒067-0063 北海道江別市上江別西町1番地
Tel & Fax 011-381-0550
HomePage <https://kahanrin.kusanosk.co.jp/>

草野河畔林



しのつ河畔林 ガイドBOOK

Shinotsu Kahanrin Guide Book

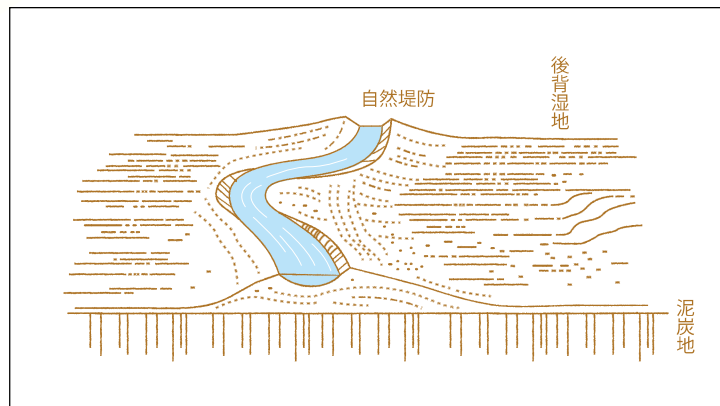
はじめに

草野河畔林トラスト財団について

貴重な自然や歴史的価値のあるものなど、保全すべきものを買い取り管理するナショナル・トラスト活動。当財団の名前は、この活動から名付けたものです。

しのつ河畔林は国道275号沿いの市街地近くに位置しながら、樹齢100年超のハルニレなど、学術的にも貴重な自然が多数残されている大規模な天然の河畔林。この貴重な土地を買い取り、基本財産として平成7年に財団法人草野「河畔林」トラスト財団を設立。その活動の公益性が認められ、平成23年には公益財団法人草野河畔林トラスト財団となりました。また、長年の功績により平成27年には自然環境功労者環境大臣賞、令和3年には林野長官賞を受賞しています。

現在、トラスト活動によって取得した河畔林・溪畔林は、しのつ河畔林の他に長沼町、ニセコ町、蘭越町(湯里・吉国)に総面積約170ヘクタール。これからも、適正な保全と適度な利用で自然との共生を目指した活動を続けていきます。



監修：酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 金子命
鳥監修：北海学園大学 工学部 生命工学科 早矢仕有子

河畔林の成りたち

石狩川と篠津川に挟まれたこの河畔林は、川が氾濫するたびに土砂が積もっていくことでできあがった天然の堤防です。ここで育つさまざまな樹木は、冠水に強い樹種ほど水辺近くに生育するなど、環境に応じた棲み分けがされています。肥沃な湿地帯に生えるさまざまな植物は、そこに生息する虫や動物などの生き物にエサを供給したり、日陰や隠れ場所となっており、強い日差しや敵から守ってあげたりします。また、生き物たちは植物の種を運んで植生を広げるなど、植物と生き物は互いに助け合い、影響しあっているのです。

また、河畔林には、そこで暮らす動植物の食物連鎖によって、河川にいる水棲生物が暮らしやすい環境をつくり出したり、水質を浄化したりといった役割もあります。



河畔林に生育する代表樹種

しのつ河畔林 春・夏

いっせいに花が咲き、木々が芽吹く春。そして、緑が濃さを増す夏。
河畔林の春と夏は、自然のエネルギーに満ちています。

オオウバユリ(7月)

河畔林全域で見られる花。大きなラッパのような花は、咲くまでに7年ものかかりますが、一度咲くと枯れてしまいます。球根はアイヌ民族の貴重な保存食でした。



エゾエンゴサク群生地(5月初)

地下茎で増え、花を咲かせるのに5年かかります。場所によって色が違います。



オオバナノエンレイソウ群生地(5~6月)

甘い匂いの赤い実をつける花。この実を好むアリやタヌキによって種が運ばれ、群生域が広がっています。



オニグルミを食べたのは誰?

河畔林に落ちているオニグルミの殻で、どの動物が食べた跡がわかります。



【アカネズミ】
穴を開けて食べます。

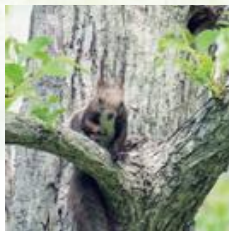


【エゾリス】
真ん中からキレイに割って食べます。



エゾリス活動域

河畔林のオニグルミなどを食べて生活しています。



ニリンソウ群生地(5~6月)

美味しい山菜として有名ですが、猛毒のトリカブト(紫の花)に似ているので注意。



ハルニレ

しのつ河畔林のハルニレは、年輪解析から樹齢100年以上のものが確認されています。ハルニレは肥沃な土地に生えることから昔は集落を作る場所の目印になりました。



ブナ林

千古園(江別市東野幌)のブナの種から育てた幼木を移植。今では林になりました。5月頃の幼葉は光が透けてとても綺麗です。



至当別

275

至札幌

新石狩大橋

石狩川

マムシグザ

クジャクシダ

マイヅルソウ



しのつ河畔林 秋

木々の葉が落ちることで視界が広がるのが秋の河畔林の楽しさ。
隠れていた植物や、動物たちに出会えます。



オオウバユリ

きめ細かい網目のカゴに入ったオオウバユリの種は、風を受けて遠くへ飛び立ちます。枯れたあとの姿も美しく、生花の花材としても利用されます。

エゾリスの貯食

冬眠しないエゾリスは、秋になるとドングリやオニグルミなどをせっせと隠します。冬の間のエサにしようと、貯食をするのです。隠し場所を忘れたり、食べ忘れたりしたエサは春になると芽を出して成長し、森林になります。

中津湖



河畔林のキノコたち

湿地帯である河畔林には多様な樹種が存在するため、さまざまなキノコが見られます。



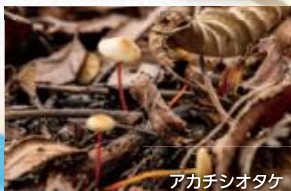
サカシキワラタケ



ツチスギタケ



ササクレヒトヨタケ



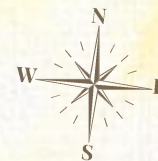
アカチシオタケ

石狩川

至 札幌

新石狩大橋

至 当別



クマゲラの採餌穴

クマゲラは木に棲むアリを食べるために木を彫って穴を開けます。その穴が舟に似ていることから「舟づくり名人」と言われています。しのつ河畔林にはクマゲラ作の舟がたくさんあります。

休憩小屋
トイレ

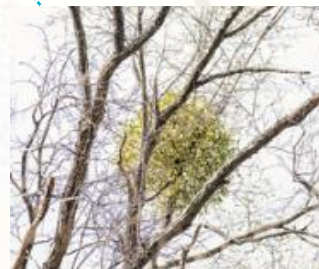
人工林

駐車場

天然林

ヤドリギ

鳥の巣のように見えるこの植物は、宿主の木から水分をもらって成長する半寄生植物です。鳥がこの実を食べ、フンをすることで木に種が付き、そこから寄生して分布を広げます。



しのつ河畔林は野鳥の宝庫

しのつ河畔林では年間を通して 55 種の野鳥が確認されています。9月から11月にかけて野鳥の種類が増え、渡り鳥も多く飛来します。



コゲラ



アカゲラ

指定特定外来種について

しのつ河畔林もセイタカアワダチソウやオオハングソウなど生態系を脅かす特定外来種が目立つようになってきました。特定外来種は各地で薬剤散布や表土剥ぎ取りで駆除が行われていますが、しのつ河畔林は在来種を育てて日陰を増やし、特定外来種を減らす取り組みを行います。これは、セイタカアワダチソウやオオハングソウの日当りを好む特性に対抗するもので、自然を保護しながら特定外来種を減らす道内で初めての試みです。



ブナ林の紅葉